

叫び

シリーズ・私の提言

東日本大震災が残した教訓は「津波警報が出たら近くの高い建物へ逃げること」でした。これを踏まえ、



津波避難ビル指定は 国の「指針」に則して

大阪府は今年五月以降、市立の小中学校一六七校、市営住宅一、二棟を津波避難ビルに指定しました(朝日新聞九月二十九日付)。

津波避難場所を確保することです。港区役所は「十一月から働きかけを行う」と言っています。

このスペースは、社会や地域への思いを自由に述べて頂けるよう読者の皆さんに開放しています。

記している淀川区の、どちらの協定書が民間建物所有者の理解と共感を得られるか、一目瞭然ではありませんか。

公開討論会に参加する港区が従来の協定書に拘り、国の指針で明確に規定されている市長・区長の責任を不問にする態度をとり続けるなら、この不況の最中、誰が進んで津波避難ビル指定に協力してくれるでしょう。

原発ゼロへ決意を 港戦争展で 安齋氏講演

港戦争展で 安齋氏講演

原発と戦争を一体で展示した「港区私たちと戦争展」の延長として、

久美子さん夫妻(八幡屋)は「国全体が原発ゼロへの決意を固めないとうもい段階へ来ている事が分かった」。

自衛艦四隻が展示訓練と一般公開を目的に入港して、

「腕磨き父超えよ」期待語る 常連客ら

「腕磨き父超えよ」期待語る 常連客ら

なぜだまされるか 安齋さんは「なぜ安全神話に騙されるのか」と

港高文化祭で 原爆展、反響

軍港化に抗議

「腕磨き父超えよ」期待語る 常連客ら

「腕磨き父超えよ」期待語る 常連客ら



「原爆と戦争展」が九月十日、港高文化祭で開かれ、

「腕磨き父超えよ」期待語る 常連客ら

「腕磨き父超えよ」期待語る 常連客ら

「腕磨き父超えよ」期待語る 常連客ら

第二次大戦からの歴史に

「腕磨き父超えよ」期待語る 常連客ら

「腕磨き父超えよ」期待語る 常連客ら

「腕磨き父超えよ」期待語る 常連客ら

「腕磨き父超えよ」期待語る 常連客ら



夕風の「鳥やす」で鶏肉を仕入れる幸樹さん(左)。父の代から30年の付き合いだ。

ありがとうございます

気エネルギー療法

ゆるゆるして、気持ちよく帰ってほしい。

健康保険・交通事故お取扱い致します。

松井整骨院

港区弁天4-10-26 ☎6572-1165

自分史を綴って過ごす良き余生!

お話をききとり、冊子にしてお渡します。

400字原稿用紙1枚で千円が標準料金です。

港新聞・飯田編集事務所 ☎6571-4636